
魔女見習いと悲しい性

れび

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔女見習いと悲しい性

【Nコード】

N8193A

【作者名】

れび

【あらすじ】

魔女に憧れる妹・梨紅^{りく}に振り回される悲しいお話です。

『魔法が使えれば』

今まで何度そう思った事だろうか。

しかし、今程『魔法が使えれば』と思う心を憎んだ事はない。何故なら、俺は、これから始まる『魔法を使えるようになる為の儀式』の生贄となってしまうているからだ。それも、実の妹の手によってである。

事の発端は10分程前に遡る。

妹の名は梨紅。ひとつ下の14歳だ。前髪で目を隠し、いつも修道着のような質素な格好をしているが、断じて宗教家ではない。妹は熱烈なオカルトマニアなのだ。数あるオカルト伝説の中でもとりわけ魔女が好きで、身に着けているのは魔女に憧れて自作したもので、自室（地下室）には大釜まで備え付けてある。普段は地下室に籠っているのだが、珍しく俺の部屋まで来たところから話は始まる。

「お兄ちゃん、お願いがあるん……」

「嫌」

俺は即答した。梨紅が全てを言い終わる前に答えは決まっていた。皆まで言わなくても分かっている。こいつが俺の所に来るときは必

ず面倒事が無理難題を持つて来る。お願いというのならまず間違はなく面倒事だ。この前大釜をひっくり返したときは掃除の手伝いをさせられたし、その前はイモリの黒焼きを実験として食べさせられた。

そのときだつて最初は断つたさ。しかし、この魔女見習いはこちらの弱味を調べ尽くしており、金欠のときは金で釣られ、親父の大事にしていた壺を割ってしまったときは脅迫され、今まで一度も断れた例がなかった。

そして梨紅は案の定、いや、予想を遥かに上回るトラップカードを発動させた。

「梨紅、持つてるんだよね。お兄ちゃんがいくら手を尽くしても手に入らなかった、マニアの間でも幻と言われる超レアなフィギュア『魔女っ娘ねむたん・朱ドレスのレクイエムver.（バージョン）』。いらならいなら切り刻んで棄てちゃおっかなあ」

ちよちよちよつと待て。落ち着け、落ち着くんた、俺。

『魔女っ娘ねむたん・朱ドレスのレクイエムver.』だと!?

このフィギュアはランダムに一個が当たる箱売りタイプで売り出され、箱自体の希望小売価格は大した値段じゃないが発売直後に回収された為にほとんど市場に出回らなくて、その上造形の評価も高くて価値が一番低い中でも優に5千は超えるってとんでもない代物よ? その中で朱ドレスが一番人気のレア物でマニア間では10万近くもするんだぜ。

朱ドレスだけでもそれほど凄いの、その遥か高みに行くレクイエムver.の価値は一体!? そもそも俺が調べた結果、レクイエムver.は都市伝説じゃなかったのか? 噂では金色のステッキを持っているのと表情が違うというのがよく言われている特徴だが、どちらも定かでは無い。見た人がいないフィギュア。それ故に幻であり、伝説なのだ。梨紅の言っている事は間違いなく嘘だ。

しかし、しかしだ。

狂おしい程求めた『魔女っ娘ねむたん・朱ドレスのレクイエム ver.』の甘美な誘惑が俺を捕えて離さない。もしかしたら手に入るかもしれない。もし手に入るのならたとえ火の中水の中、どんな仕打ちであろうとも甘んじて受け入れられると思えてくる。虎穴に入らずんば虎子を得ずとも言っし…

結果、そのオタクの悲しい性によって現在に至る訳だ。梨紅には、

「レクイエム ver.？ あんなの存在しないよ」

と見事なまでに騙されて、俺の命は大ピンチ。

「餌はね、釣る為に有るんだよ。タダ程高い物は無いとも言っし。勉強になったね、お兄ちゃん」

はい、大変勉強になりました。 って命を取られたら勉強どころじゃないと思います。

あ、待つて止めて目隠ししないで…

神様仏様妹様、
お願いですから助けてください。

（後書き）

『魔女っ娘ねむたん』は実際には存在しません（笑）

堅苦しい文を書こうとするとどうしても変な文になってしまうようなので、息抜きに書いてみました。

『魔女見習いと（オタクの）悲しい性』だとあまりにもバレバレなので括弧の中身は省きました。

御意見・御感想を待ってます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8193a/>

魔女見習いと悲しい性

2010年11月17日14時48分発行